

・基本

名詞(N) V-C-C-V 核

修飾詞(A) C- -C、名詞に周置する

動詞(V) -V- 名詞から派生、CCの間に入る。

apri 人

s--r 綺麗な、見ていて美しく感じる

-a- 第一派生形動詞(能動態、[核]になる、にする)を形成する

apri 人

saprir 綺麗な人

saparir 綺麗な人になる、する

・動詞節修飾

動詞節修飾による呼応: 修飾される名詞は修飾する動詞の動詞派生母音+u/iが付く、呼応していればどこにおいてもいい。

ugra 言葉

ugara 話す

sugarar 美しく話す

apauri sugarar 美しく話す人

・修飾とピッチ

ピッチ: ピッチのない語は全部低ピッチである。(C)V1C(V2)CV3(C)が名詞インスタンスであり、V1に高ピッチがあると修飾体、V3に高ピッチがあると名詞の被修飾体になる。修飾体は直前か、呼応する節の直後の被修飾名詞を修飾する。

epsa 腕輪

epsá apauri sugarar 美しく話す人の腕輪

修飾体が動詞との呼応をしている場合、それは副詞として扱う。

ápauri sugarar. 人らしく美しく話す

・動詞派生の一覧

派生形名	母音	例
第一派生形動詞 (能動態、{核}になる、にする)	-a-	ugara 「話す」
第二派生形動詞 (受動態、{核}をされる)	-i-	ugira 「話される」
第三派生形動詞 (可能形、{核}ができる、なれる)	-u-	ugura 「話せる」
第四派生形動詞 (命令、{核}をしろ、なれ)	-e-	ugera 「話せ」
第五派生形動詞 (義務、{核}しなければならない、ならないといけない)	-o-	ugora 「話さねばならない」
第六派生形動詞 (意思、{核}したい、しなければならない)	-ä-	ugära 「話したい、話さないといけない」
第七派生形動詞 (否定、{核}しない、ならない)	-ë-	ugëra 「話さない」
第八派生形動詞	-ï-	ugïra
第九派生形動詞	-ü-	ugüra
第十派生形動詞	-ö-	ugöra